

ちほめんNews vol.66

お札不思議発見！地域の魅力PR応援プロジェクト ～コロナ禍におけるマスメディアを通じた取組～

経緯

日頃から、地方公共団体や地域金融機関等の関係機関の皆様と情報交換させていただく中で、西日本で紙幣を製造している唯一の工場である国立印刷局彦根工場を地域の魅力の一つとしてPRする企画を大津財務事務所が応援させていただくことになりました。

彦根市や国立印刷局彦根工場と打ち合わせを重ねる中で、当企画は、地元テレビ局（びわ湖放送株）が、滋賀の魅力の『新発見』と『再発見』を発信し、滋賀の地方創生を後押しするテレビ番組（金曜オモロしが）の新春特別企画として放送していただけることになりました。



©びわ湖放送株

事前打合せ

事前の打合せでは、3密を避けつつ、ウェブ会議システムを併用して実施しました。特にテレビカメラで撮影できる箇所、撮影できない箇所については入念に確認しながら、視聴していただく地域住民にとって分かりやすくなるよう打合せを重ねました。



国立印刷局彦根工場での撮影

国立印刷局彦根工場での撮影では、同工場の上村工場長が同番組のリポーターを務めている滋賀県住みます芸人のファミリーレストランを案内しながら、進行しました。

同工場では、通常（※）であれば一般に公開されている展示室に加えて、今回、当企画のために特別に紙幣の製造現場も撮影させていただきました。

展示室では、すかし等の紙幣の偽造防止技術や2024年度上期を目途に約20年ぶりに発行される予定の新紙幣について紹介していただきました。

製造現場では、紙幣が印刷される工程や日本銀行に紙幣を納める最後の工程に加えて、テレビカメラが入るのは初めての“断裁（大判を紙幣のサイズに断裁する工程）”と呼ばれる工程の貴重な映像も撮影させていただきました。

最後には、上村工場長から「日本のお札について、興味を持っていただき、大切に使用してもらえば大変嬉しい」といったメッセージをいただきました。

（※）国立印刷局彦根工場では、火曜日と木曜日に事前予約制で工場見学を受け入れており、展示室の見学ができますが、新型コロナウイルス感染症の関係で、当記事の作成時点では、見学を中止しています



彦根城での撮影

彦根城では、当企画のオープニングとエンディングのシーンを撮影しました。

オープニングでは、新年のご挨拶の後、彦根市のご当地マスコットキャラクターのひこにゃんから彦根市内に紙幣の印刷工場がある旨を紹介しました。





エンディングのシーンは、オープニングでひこにゃんから紹介された国立印刷局彦根工場でのシーンの後に放送されました。

エンディングでは、大津財務事務所のちほめん（地方創生企画推進メンバー）も出演させていただきました。

出演した大津財務事務所のちほめんから、おこづかい講座のお知らせとして「お金は計画的に使うことが大事であること」、「すごろくゲームで遊びながらお金を計画的に使うことの大切さを学ぶことができる児童向けの出前講座を大津財務事務所が開催していること」についてお話させていただきました。

当企画にご協力いただきました彦根市、国立印刷局、びわ湖放送㈱の関係者の皆様、ご多忙のところ誠にありがとうございました。改めましてこの場を借りて御礼申し上げます。



トップ会談

1月15日（金）には、彦根市長、国立印刷局彦根工場長、大津財務事務所長が会談し、地域の活性化、地方創生に関して意見を交換し、それぞれの役割・使命は異なっているけれども、引き続き必要な場面では協力し合う旨の話が繰り広げられました。



※ 写真撮影時のみマスクを外しています

今後も、大津財務事務所では地域の声に耳を傾けながら、地域の皆様と共に地域の活性化、地方創生に取り組んで参ります。